

ファンコイル大温度差確保のための過流防止機能により ファンコイル冷温水の流れすぎを防ぎ ECO を実現します

■過流とは？

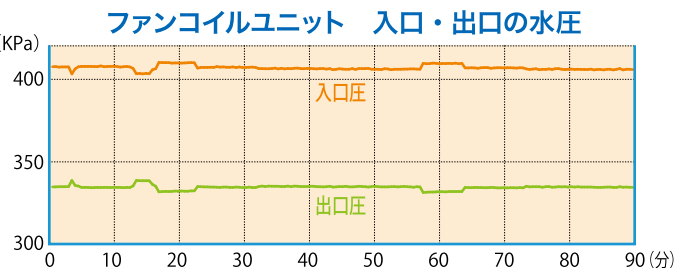
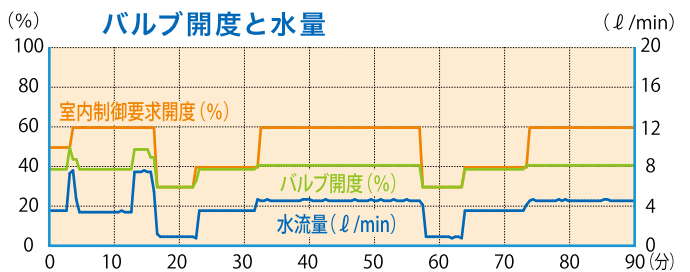
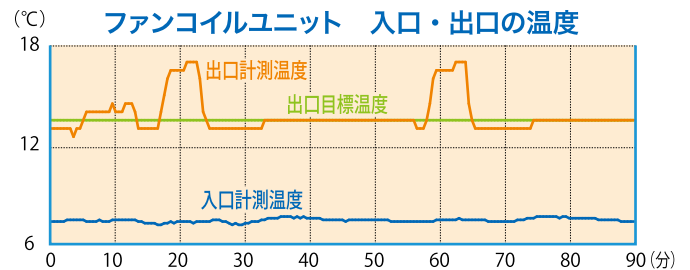
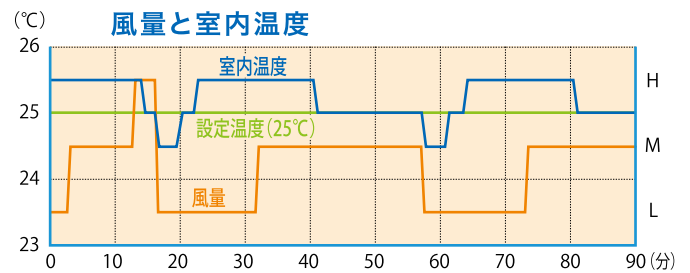
ファンコイルユニットには各メーカーの各型番で冷温水入口出口の温度差ごとに設計基準水量があります。設計基準水量とはファンコイルユニットを設計能力値通りに効率的に運転させる水量です。ところが、実際には様々な要因により設計基準水量以上に流れている傾向が見受けられます。この**設計基準水量以上に流れてしまう水量を過流**と考えています。

■過流を防止すると・・・

ファンコイルユニットの性能上、水量を増やすと冷暖房能力が上がります。しかし、設計基準水量を超えて過度の流量増加が発生した場合、能力の増加率が著しく落ちていきます。つまり、**必要以上の流量は能力も上がらず水搬送動力の無駄**ということになります。そこでリョービは**過流防止機能を装備しECO**を実現します。

■特長

- ファンコイルユニット出口温度の制御により過流を防止
- 室内温度制御と過流防止制御を同時に実行
- 一般的なフローティングバルブが使用可能
- 室内リモコンで冷温水出口目標温度の設定や、冷温水出口計測温度の確認可能
- 2管式/4管式ファンコイルの両方に対応可能



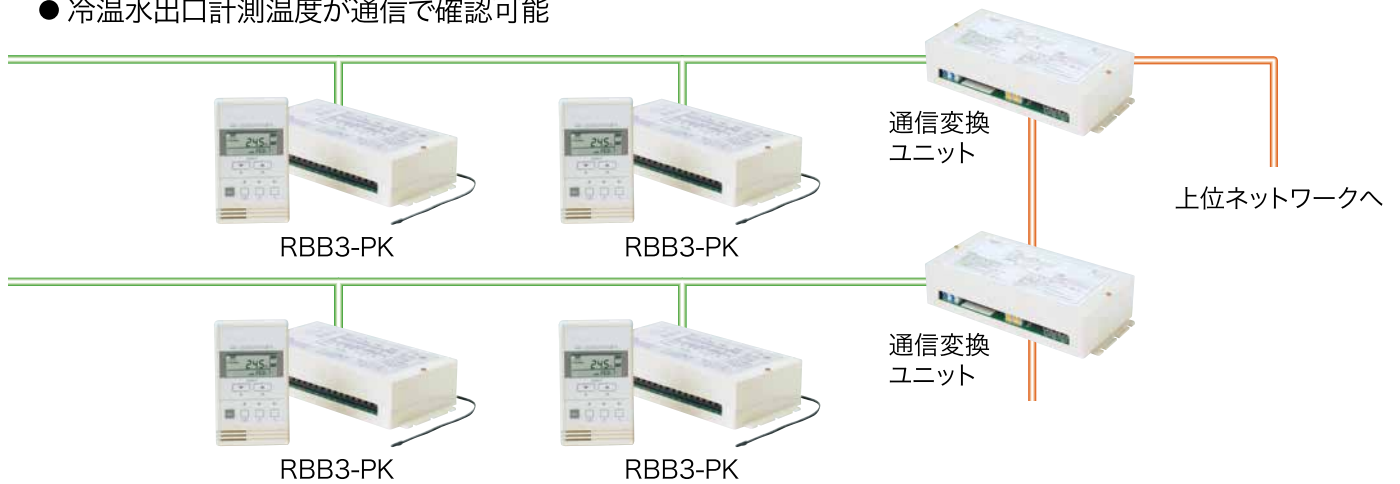
〈実験条件〉 ファンコイルユニット：400番 バルブ：フローティング
バルブ口径：20A 冷水：7℃ ポンプ：28Hz
負荷：約1.5KW 室内設定温度：25℃ 出口目標温度：13.5℃

■ 拡張性

通信変換ユニット「RBB2-MB」や「RBB-LN」により上位ネットワークへの接続が出来ます。

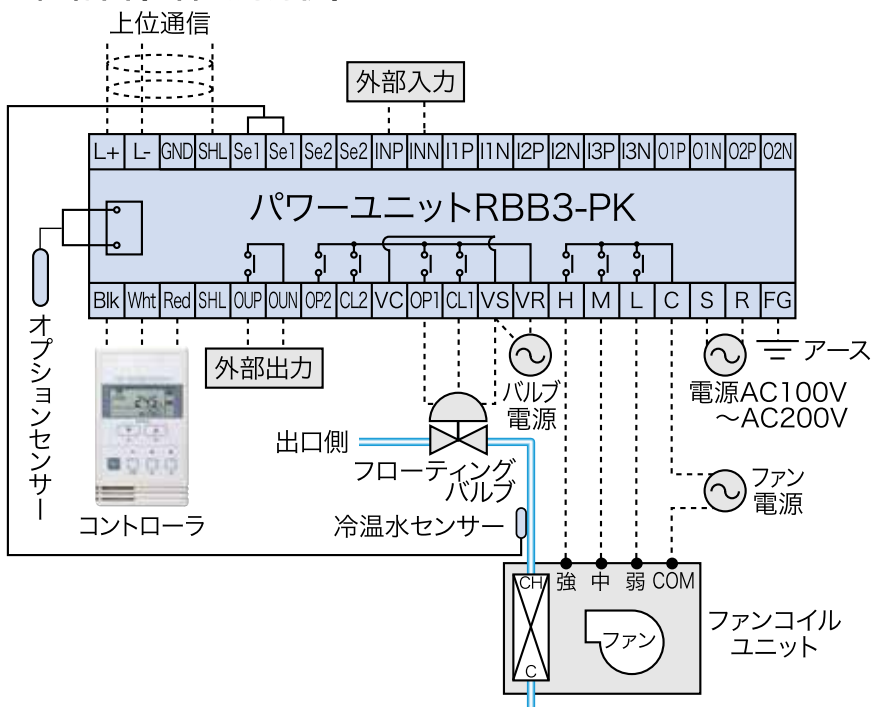
■ 主な情報(過流防止機能)

- 冷温水出口目標温度が通信で設定可能
- 冷温水出口計測温度が通信で確認可能

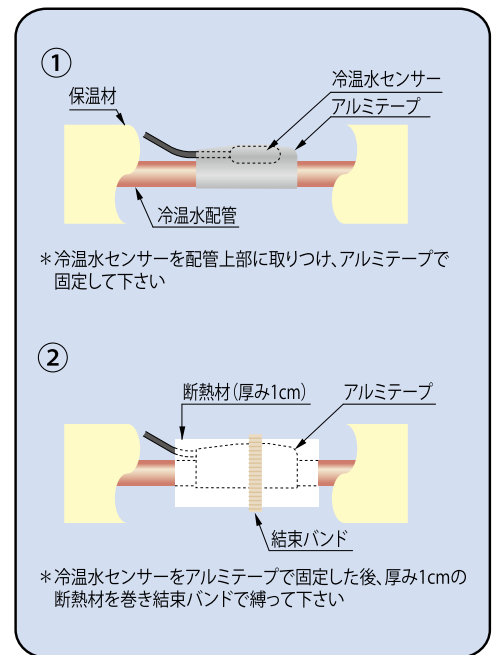


■ 配線図(2管式対応例)

----- 現地配線



■ 冷温水センサー取付要領図



■ システム構成図

